



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 長岡 宏
問合せ先責任者 (役職名) 事業管理部長 (氏名) 小野崎 正史 (TEL) 03-5299-7629
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	39,872	0.4	1,356	—	686	236.7	△126	—
2025年3月期第1四半期	39,730	△3.0	70	—	204	△83.6	5,880	369.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,837百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △1,528百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△0.46	—
2025年3月期第1四半期	44.02	10.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	126,152	54,108	37.9
2025年3月期	128,326	55,945	38.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,793百万円 2025年3月期 49,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	154,600	△4.4	4,000	28.1	1,700	—	△1,300	△4.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	273,755,222株	2025年3月期	273,755,222株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	2,346,680株	2025年3月期	2,375,138株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	271,401,440株	2025年3月期1Q	133,591,053株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 上記の未償還のA種類株式は13,700株です。A種類株式は、2019年9月30日に20,000株を発行し、6,300株を2025年1月14日付でA種類株主による普通株式を対価とする取得請求権の行使に伴い取得し同月16日付で消却しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結貸借対照表関係)	12
(四半期連結損益計算書関係)	12
(重要な後発事象の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループを取り巻く事業環境は、物価の高止まりや景気減速リスク、為替相場の変動など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、日本における商用車メーカーの北米向け製品の受注減少、欧州における一部車種のモデルチェンジに伴う生産終了や完成車メーカーの生産量減少に伴う受注減少などがあったものの、前期の後半に立ち上がったメキシコにおける新型車向け製品をはじめとした北米での受注増加により、売上高は399億円と対前年同期比1億円(+0.4%)の増収となりました。

利益面では、経費削減や生産性向上などの合理化により、営業利益は14億円(前年同期は1億円)となりました。経常利益は、前期に為替差益を計上した一方で当期は為替差損を計上したものの、資金調達費用が減少したことなどにより7億円と対前年同期比5億円(+236.7%)の増益となりました。

特別損益については、前期に計上した投資有価証券売却益がなくなったことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益59億円)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	397	399	1	0.4%
営業利益	1	14	13	—%
経常利益	2	7	5	236.7%
税金等調整前四半期純利益	88	5	△84	△94.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	59	△1	△60	—%

地域セグメントごとの業績は次のとおりです。

(単位：億円)

		前期	当期	増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本	162	155	△7	△4.3%	—
	北米	117	135	18	15.5%	1
	欧州	36	25	△11	△29.8%	△1
	中国	27	27	0	0.7%	0
	タイ	19	17	△2	△12.6%	1
	インドネシア	58	61	3	4.4%	△2
	連結消去	△23	△22	1	—%	—
	連結	397	399	1	0.4%	△0
営業利益	日本	6	6	0	2.9%	—
	北米	△11	△5	6	—%	△0
	欧州	1	1	△0	△36.9%	△0
	中国	△1	2	4	—%	0
	タイ	2	2	1	32.7%	0
	インドネシア	4	6	3	67.8%	△0
	連結消去	0	0	△0	△21.5%	—
	連結	1	14	13	—%	△0

① 日本

自動車用補修品や鉄道車両用製品の受注は増加しましたが、商用車メーカーの北米向け製品の受注減少などにより、売上高は155億円と対前年同期比7億円(△4.3%)の減収となりました。

利益面では、受注変動の影響があったものの、前期までに実施した人員適正化による労務費の減少、生産性向上などの合理化や経費削減により、営業利益は前年同期並みの6億円(+2.9%)となりました。

② 北米

米国における一部車種の生産終了があったものの、前期の後半に立ち上がったメキシコにおける新型車向け製品をはじめとした受注増加により、売上高は135億円と対前年同期比18億円(+15.5%)の増収となりました。

利益面では、賃金上昇や米国エリザベスタウン工場閉鎖に向けた在庫造り込みに伴う一時的な人員増加による労務費の増加があったものの、受注増加により、営業損失は5億円(前年同期は営業損失11億円)にとどまりました。

③ 欧州

一部車種のモデルチェンジによる生産終了や完成車メーカーの生産量減少に伴う受注減少により、売上高は25億円と対前年同期比11億円(△29.8%)の減収となりました。

利益面では、生産数量減少に応じた人員適正化や経費削減などの合理化に努めましたが、受注減少により、営業利益は前年同期並みの1億円(△36.9%)となりました。

④ 中国

摩擦材製品の受注減少があったものの、中国系完成車メーカーの新型車向け製品の立ち上げがあり、売上高は前年同期並みの27億円(+0.7%)となりました。

利益面では、前期までに実施した人員適正化による労務費の減少及び経費削減により、営業利益は2億円(前年同期は営業損失1億円)となりました。

⑤ タイ

ローン審査厳格化を主とした国内需要低迷による受注減少や前期における一部車種の生産終了により、売上高は17億円と対前年同期比2億円(△12.6%)の減収となりました。

利益面では、受注減少の影響があったものの、生産性向上などの合理化により、営業利益は2億円と対前年同期比1億円(+32.7%)の増益となりました。

⑥ インドネシア

金利の高止まりやローン審査厳格化による小型車用製品の受注減少があったものの、二輪車用製品の受注増加により、売上高は61億円と対前年同期比3億円(+4.4%)の増収となりました。

利益面では、二輪車用製品の受注増加に加え、原材料価格やエネルギーコストの販売価格への転嫁により、営業利益は6億円と対前年同期比3億円(+67.8%)の増益となりました。

(注) 当第1四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア：2025年1月～2025年3月

(2) 日本・欧州：2025年4月～2025年6月 となります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	650	651	2	流動負債	313	322	8
現金及び預金	183	186	3	仕入債務	182	180	△2
売上債権	274	272	△2	有利子負債	30	36	7
棚卸資産	172	165	△6	その他	101	105	4
その他	21	28	7	固定負債	410	399	△12
固定資産	634	610	△24	有利子負債	322	321	△0
有形固定資産	502	481	△21	その他	89	77	△11
無形固定資産	24	21	△2	負債合計	724	720	△3
その他	109	108	△1	純資産	559	541	△18
総資産	1,283	1,262	△22	負債・純資産	1,283	1,262	△22

(資産)

当期末の資産は1,262億円と前期末比22億円の減少となりました。流動資産は651億円と前期末比2億円の増加となりました。これは主に、円高の影響があった一方で短期借入金の追加借入などにより現金及び預金が3億円増加したことによるものです。固定資産は610億円と前期末比24億円の減少となりました。これは主に、設備投資を行った一方で減価償却費の計上や円高の影響などにより有形固定資産が21億円減少したことによるものです。

(負債)

当期末の負債は720億円と前期末比3億円の減少となりました。これは主に、借入により短期借入金が7億円増加した一方で、前期に係る法人税支払いにより未払法人税等が4億円、子会社からの配当の受取りに伴う取崩により繰延税金負債が2億円、円高の影響により仕入債務が2億円それぞれ減少したことによるものです。

有利子負債残高358億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は172億円であります。

(純資産)

当期末の純資産は541億円と前期末比18億円の減少となりました。これは主に、為替変動の影響により為替換算調整勘定が16億円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比3億円増加の186億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	21	5	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	101	△8	△110
計 (フリー・キャッシュ・フロー)	122	△4	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31	5	36
換算差額	△12	2	14

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

法人税等の支払額10億円や事業再編による支出4億円があった一方で、税金等調整前四半期純利益5億円や減価償却費15億円などがあり、資金が増加となりました。前年同期に対しては、運転資本の増加や、利息の支払額、法人税等の支払額及び事業再編による支出の増加により、収入が減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

インドネシアにおける工場移転などの設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出9億円の計上があり、資金が減少となりました。前年同期に対しては、設備投資の減少などにより有形及び無形固定資産の取得による支出が減少した一方で、前期に計上した投資有価証券の売却による収入がなくなったことから、収入から支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

非支配株主への配当金の支払額4億円があった一方で、短期借入金の純増額9億円があり、資金が増加となりました。前年同期に対しては、前期に実施したリファイナンスに伴う長期借入金の返済による支出がなくなったことや非支配株主への配当金の支払額の減少に加え、短期借入により、支出から収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日付の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した内容から変更はありません。今後、業績予想に修正が必要であると見込まれる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,303	18,622
受取手形及び売掛金	27,440	27,229
商品及び製品	4,252	3,917
仕掛品	2,605	2,506
原材料及び貯蔵品	10,296	10,092
その他	2,296	2,996
貸倒引当金	△240	△218
流動資産合計	64,951	65,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,633	51,532
減価償却累計額	△41,995	△41,428
建物及び構築物（純額）	※2 10,638	※2 10,105
機械装置及び運搬具	149,423	144,526
減価償却累計額	△129,655	△126,214
機械装置及び運搬具（純額）	※2 19,769	※2 18,312
土地	※2 13,727	※2 13,634
建設仮勘定	4,229	4,354
その他	23,176	22,870
減価償却累計額	△21,382	△21,211
その他（純額）	1,794	1,660
有形固定資産合計	50,158	48,064
無形固定資産	2,358	2,146
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 85	※2 87
退職給付に係る資産	8,548	8,593
繰延税金資産	1,025	962
その他	1,202	1,155
投資その他の資産合計	10,860	10,798
固定資産合計	63,375	61,009
資産合計	128,326	126,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,238	18,013
短期借入金	※1 2,862	※1 3,540
リース債務	103	101
未払法人税等	720	353
未払費用	6,002	5,990
賞与引当金	1,065	1,856
設備関係支払手形	139	117
その他	2,208	2,197
流動負債合計	31,337	32,166
固定負債		
長期借入金	※1, ※2 32,000	※1, ※2 32,000
リース債務	166	142
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	3,374	3,227
繰延税金負債	2,570	2,342
再評価に係る繰延税金負債	1,665	1,665
その他	1,260	495
固定負債合計	41,044	39,879
負債合計	72,381	72,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	2,345	2,331
利益剰余金	17,872	17,746
自己株式	△1,586	△1,567
株主資本合計	38,571	38,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	14
土地再評価差額金	3,741	3,741
為替換算調整勘定	6,421	4,794
退職給付に係る調整累計額	752	794
その他の包括利益累計額合計	10,927	9,344
新株予約権	25	21
非支配株主持分	6,422	6,294
純資産合計	55,945	54,108
負債純資産合計	128,326	126,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	39,730	39,872
売上原価	35,904	35,373
売上総利益	3,826	4,498
販売費及び一般管理費	3,757	3,143
営業利益	70	1,356
営業外収益		
受取利息	75	48
受取配当金	158	3
為替差益	1,596	—
その他	231	33
営業外収益合計	2,059	84
営業外費用		
支払利息	324	436
為替差損	—	255
製品補償費	24	7
資金調達費用	1,501	3
その他	77	52
営業外費用合計	1,925	754
経常利益	204	686
特別利益		
固定資産売却益	19	1
投資有価証券売却益	8,863	—
新株予約権戻入益	3	—
特別利益合計	8,884	1
特別損失		
固定資産除売却損	4	10
事業構造改善費用	※ 246	※ 214
特別損失合計	250	224
税金等調整前四半期純利益	8,838	463
法人税、住民税及び事業税	2,074	542
法人税等調整額	774	△242
法人税等合計	2,848	300
四半期純利益	5,990	163
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	288
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	5,880	△126

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	5,990	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,843	2
為替換算調整勘定	380	△2,064
退職給付に係る調整額	△55	63
その他の包括利益合計	△7,518	△2,000
四半期包括利益	△1,528	△1,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,001	△1,709
非支配株主に係る四半期包括利益	473	△128

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,838	463
減価償却費	1,678	1,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△93	12
受取利息及び受取配当金	△233	△51
支払利息	324	436
固定資産除売却損益 (△は益)	△16	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,863	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,033	△619
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△515	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	△893	328
その他	576	462
小計	2,844	2,534
利息及び配当金の受取額	233	51
利息の支払額	△315	△805
法人税等の支払額	△618	△952
事業再編による支出	△64	△364
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,081	464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,479	△915
有形及び無形固定資産の売却による収入	61	2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	11,511	—
その他	35	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,130	△834
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	892
長期借入れによる収入	32,000	—
長期借入金の返済による支出	△32,572	—
非支配株主への配当金の支払額	△2,480	△354
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25	△20
自己株式の純増減額 (△は増加)	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,077	518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,248	170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,885	318
現金及び現金同等物の期首残高	26,949	18,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,834	18,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成しております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	14,756	11,474	3,461	2,470	1,797	5,772	39,730	—	39,730
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,451	234	123	260	144	46	2,258	△2,258	—
計	16,207	11,708	3,584	2,731	1,941	5,818	41,988	△2,258	39,730
セグメント利益 又は損失(△)	630	△1,094	84	△138	160	378	21	49	70

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	14,131	13,325	2,405	2,441	1,559	6,010	39,872	—	39,872
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,385	200	112	308	136	63	2,205	△2,205	—
計	15,516	13,526	2,517	2,749	1,696	6,073	42,076	△2,205	39,872
セグメント利益 又は損失(△)	648	△465	53	234	212	635	1,317	39	1,356

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 1 財務制限条項

当社及び連結子会社であるPT. Akebono Brake Astra Indonesia(インドネシア)の借入金には、グロスレバレッジ比率、デットサービスカバー比率、銀行預金残高、連結純資産、連結営業利益、設備投資金額などに関する財務上の特約が付されております。

なお、これらの契約に基づく借入残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
短期借入金	2,862百万円	3,540百万円
長期借入金	32,000百万円	32,000百万円
計	34,862百万円	35,540百万円

※ 2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
建物及び構築物	6,941百万円	6,627百万円
機械装置及び運搬具	13,879百万円	12,794百万円
土地	11,644百万円	11,564百万円
投資有価証券	14百万円	16百万円
計	32,478百万円	31,002百万円

(注) 上記の他、連結上消去されている関係会社株式(前連結会計年度5,133百万円、当第1四半期連結会計期間5,133百万円)、関係会社出資金(前連結会計年度1,322百万円、当第1四半期連結会計期間1,322百万円)及び関係会社短期貸付金(前連結会計年度23,559百万円、当第1四半期連結会計期間23,936百万円)を担保に供しております。

担保付債務は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
長期借入金	32,000百万円	32,000百万円

3 偶発債務

当社及び連結子会社が過去に製造・販売した一部のブレーキ製品に関連し、完成車メーカーにおいて当該製品を搭載した自動車について市場回収処置(リコール)の届出が行われました。これにより補修費用等の負担が発生する可能性があります。当該影響額を合理的に見積もることは困難であるため、連結財務諸表には反映しておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 事業構造改善費用

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

主な内訳は、北米におけるAkebono Brake, Elizabethtown Plant(米国)の閉鎖に係る費用246百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

主な内訳は、北米におけるAkebono Brake Corporation(米国)の1工場化に係る費用214百万円であります。

(重要な後発事象の注記)

連結子会社における固定資産の譲渡

当社は、当社の連結子会社であるAkebono Brake Corporation(米国)における固定資産の譲渡に伴い、2026年3月期連結決算において特別利益(固定資産売却益)約6億円を計上する見込みとなりました。

詳細は、2025年8月1日付「連結子会社における固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。